



山本亮介 議員

Ryosuke Yamamoto



新年度予算

トピックス

質疑あれこれ

一般質問

議会用語

追跡

Q. 豊山町の治水・災害対策を尋ねる

A. 雨水貯留施設を11カ所に設置した

Q 豊山町は公共施設用地に雨水貯留層等を整備しているが、設置場所、時期、増えた貯留量はどのくらいか。

A 産業建設部長
平成13年度から19年度にかけて、神明公園を始め11カ所に計1万2353㎡の雨水貯留施設を設置した。

Q 雨水地下貯留層他に講じた対策は、どのようなものがあるか。

A 産業建設部長
下水道に接続する際に、不要となる合併処理浄化槽を雨水貯留施設へ転用する工事の一部を、補助している。

Q 久田良木川のポンプ場の補強については、どのように考えているか。

A 産業建設部長
久田良木川流域では、農地の宅地化が進み、雨水の流出抑制機能は著しく低下している。また、平成12年9月の東海豪雨以降、降雨強度が大幅に見直された。排水ポンプの増強についても、大山川への放流量に応じた排水ポンプの増強レベルを検討し、必要量を決定する。

Q 東海豪雨以降、町内での浸水被害はあったか。

A 総務部長
床下浸水が3回発生している。平成20年の集中豪雨により5世帯、平成23年の台風15号による雨で33世帯、平成25年の集中豪雨により13世帯が発生している。

Q 今後、洪水ハザードマップを更新する予定はあるか。

A 総務部長
現在のところ予定はない。今後、国交省及び愛知県が公表する新たな浸水想定区域に大きな変化があれば、見直しを

行っていきたいと考えている。



▲治水対策の推進を 調整池（林先）